

使用済み商用車架装物 解体マニュアル

ダンプ車

〔リヤダンプトラック、三転ダンプトラック用〕
〈軽自動車用は除く〉

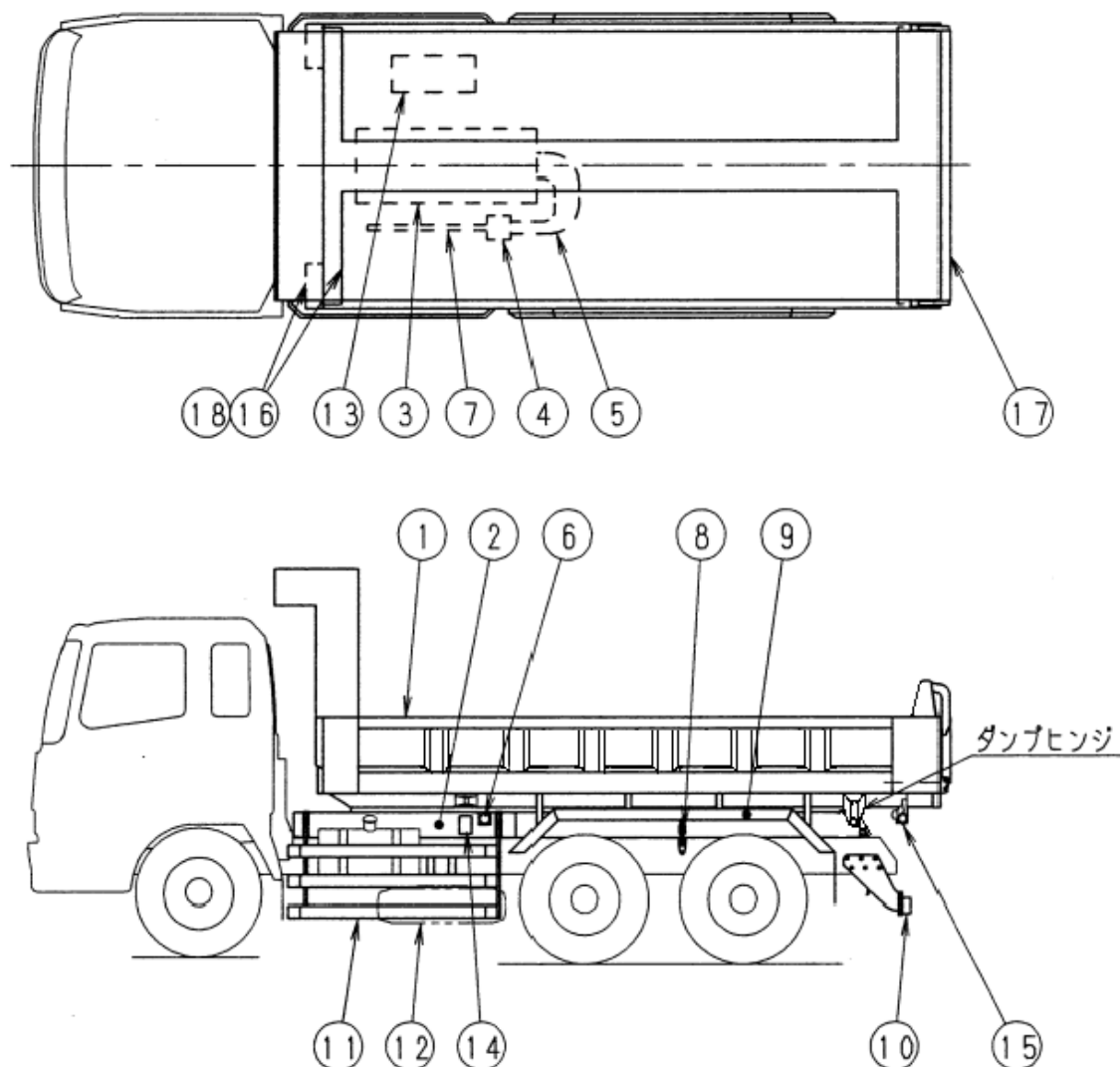
1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取り扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル（新明和工業株式会社 共通編）」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

内 容

1. ダンプ架装物の構造概要
2. ダンプ架装物の解体マニュアル
3. お問い合わせ窓口

新明和工業株式会社

1. ダンプ架装物の構造概要



(注記) 上図は一般的なダンプを例に表示しており、車格及びダンプ仕様により形状等が異なる場合があります。

品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	ダンプ荷台	10	リヤバンパー
2	サブフレーム	11	サイドガード
3	ダンプホイスト機構	12	スペアタイヤキャリア
4	油圧機器	13	ツールボックス
5	配管&ゴムホース	14	グリス給脂装置
6	自重計&ホース	15	外装部品
7	ドライブシャフト	16	飛散防止装置
8	Uボルト等	17	テールゲート等のパッキン
9	リヤフエンダー	18	天蓋

2. ダンプ架装物の解体マニュアル

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理・1	ダンプ荷台が空であることを確認し、外装部品を取外してください。 (サイドバンパ、スベアタイヤ、ツールボックス、リヤフェンダー等)	解体マニュアル(共通編)を参照願います。
	事前処理・2	荷台が下りた状態(走行状態)で作業します。ダンプ用ポンプの低・高圧のフランジを外し、作動油を抜いて下さい。オイルパンは油圧機器を取り外すまで、用意して置いて下さい。標準型の作動油量は、小型車約6リットル、中型車約8リットル、大型車約35リットルです。	作動油を受けるためのオイルパン等を用意してください。
車両全体	ダンプヒンジ	ダンプヒンジのピン又はシャフトを抜いてください。	周囲の安全を確認してください。
車両全体	ダンプ荷台全体	天井クレーンを使用して、ダンプ荷台を水平に吊り上げてください。	ワイヤ掛けを確実にを行い、安全確認してください
車両全体	ダンプ荷台降ろし	ダンプ荷台とダンプホイスト機構を繋いでいる、ピン・ボルト等を外し、ダンプ荷台をシャシから降ろしてください。	クレーン等を使って安全に注意してください。
車両全体	ダンプホイスト機構	オイルタンク、配管等を外し、ダンプホイスト機構を降ろしてください。ダンプ用ポンプ、ドライブシャフト等を外してください。	クレーン等を使って安全に注意してください。
車両全体	サブフレーム固縛	Uボルト等を外して、サブフレームをシャシから降ろしてください。	クレーン等を使って安全に注意してください。
1	ダンプ荷台	溶断等により裁断し、材質により分別してください。	切断ヒューム、粉塵等に注意してください。
2	サブフレーム	溶断等により裁断し、材質により分別してください。 (小型ダンプ等でサブフレームのない場合があります。)	切断ヒューム、粉塵等に注意してください。
3	ダンプホイスト機構	ダンプリnkは金属類と樹脂類(ブッシュ)に分別して下さい。	
4	油圧機器	各機器から油を抜いてください。油圧機器(シリンダー、ポンプ、バルブ等)は専門業者に委託して適切に処理してください。	オイルパン等を用意してください。
5	配管&ゴムホース	内部残油を抜いて、金属類とゴム類に分別してください。	オイルパン等を用意してください。
6	自重計&ホース	内部残油を抜いて、金属類とゴム類に分別してください。 (大型土砂ダンプに装着され、一般には装着されていません。)	オイルパン等を用意してください。
7	ドライブシャフト	取り外してください。 (小型ダンプ等でドライブシャフトがない場合があります。)	
8	Uボルト等	取り外して下さい。	
9	リヤフェンダー&マッドガード	金属類とゴム、樹脂類に分別処理してください。	
10	リヤバンパー	取り外してください。反射板等が付いている時は、金属類と樹脂類に分別してください。	
11	サイドガード	取り外してください。	
12	スベアタイヤキャリア	取り外してください。	
13	ツールボックス	取り外してください。	
14	グリス給脂装置	金属類と樹脂類(グリスチューブ)に分別し、グリスとチューブは適切に処理してください。	
15	外装部品	取り外し、分別してください。	
16	飛散防止装置	取り外して、金属類とシート類に分別処理してください。電動モーターがある場合は配線も分別してください。	荷台に溶接取付されている場合があります。
17	テールゲート等のパッキン	荷こぼれ防止のため、パッキンが装着されている場合は金属類とゴム、樹脂類に分別してください。	パッキンが接着されている場合があります。
18	天 蓋	飛散防止等のため、手動式、油圧式等の天蓋が付いている場合は金属類とゴム、樹脂類に分別してください。	荷台に溶接取付されている場合があります。

(注) No4 油圧機器の解体には専門知識、工具が必要ですので専門業者に委託して適切に処理願います。

3. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関しまして、お問い合わせ事項等ございましたら下記までお願い致します。

新明和工業株式会社 特装車事業部 開発部

TEL : 0283-23-2226

以上